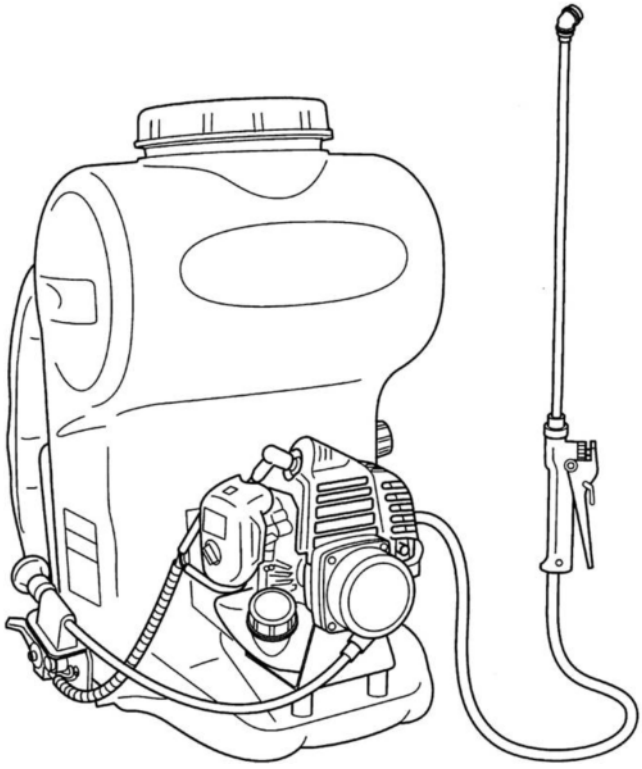
T4051-93111 (E4/A1110)

ZENOAH®

背負動力噴霧機　取扱説明書

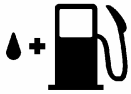
RS086EZ



⚠ 注意	●製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ●取扱説明書は大切に保管してください。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマーク が使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠危険	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	： 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重　要	： 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補　足	： その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠正しくお使いいただくために…… 1

警告ラベルとその取扱い…… 5

サービスと保証について…… 6

各部の名称…… 7

標準付属品…… 8

製品主要諸元…… 9

運転準備

ノズルの組立て…… 10

スロットルワイヤの遊び調整…… 10

燃料…… 11

給油…… 12

薬液の投入…… 13

エンジンのかけかた…… 14

エンジンのとめかた…… 17

散布作業

運転…… 18

散布作業後…… 20

点検整備

作業前後点検…… 21

定期点検…… 21

エアクリーナ…… 22

燃料フィルタ…… 22

スパークプラグ…… 23

エンジンの調整…… 24

100 時間毎の手入れ…… 24

ポンプの水抜き…… 25

長期保管時の手入れ…… 26

故障のときは…… 27

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

●ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

●本製品は農作物の病害虫防除用薬剤や、除草剤の散布を主用途に設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、所定用途以外の目的には使用しないで下さい。

●本製品は取扱いに注意を要する農薬を散布するため、操作を誤ると危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

① 転倒の恐れがあるなど、製品の正常な保持･操作が困難な場合
② 日没後など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
③ 天候悪化時（降雨、濃霧、強風、雷など）

●初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

（参考）国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として		
1回の連続作業時間	30分	以内
1日の作業時間	2時間	以内
1週の作業日数	4日	以内
1月の作業時間	32時間	以内

●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

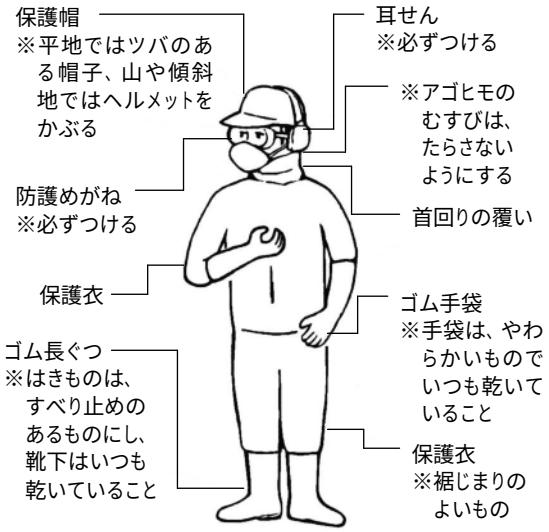
●小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■防除作業前の注意

●農薬の付着または吸入を防ぐための適正な農薬散布用保護衣、作業帽、ゴム手袋、ゴム長ぐつ、保護マスク、保護メガネ、タオル、保護用クリーム等を用意し、作業時に危険のない完全な服装を整えてください。



●農薬は一定の保管箱または戸棚等に保管し、必ず鍵をかけ、子供等の手の届かない安全な場所に保管してください。

●使用する農薬の取扱い説明書をよく読み、毒性、使用方法等について熟知してください。

●水道、河川、池、沼等を汚染しないように、また居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないように、散布地域について十分考慮してください。

●水道、河川、池、沼等を汚染しないように、また居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないように、散布地域について十分考慮してください。

●防除作業の前日は、飲酒、徹夜等を控えて体調を整えてください。

●子供や家畜等を農薬散布現場に近づけないでください。

●作業前に噴霧機を点検し、各部締付ネジ類や、吐出管接続部のゆるみ、燃料漏れ、薬液タンクパッキンの損傷などの異常の有無を確かめ、完全に整備してください。

■農薬運搬時の注意

●農薬を運搬するときは、袋が破れたり、ビンが割れたり、栓がゆるんだりして容器から農薬がこぼれないよう、慎重に取り扱ってください。

●農薬を弁当などの飲食物と一緒の箱等に入れて運搬しないでください。

■噴霧機運搬時の注意事項

●運搬中の衝撃で燃料や薬液が漏れ出す恐れがありますので、噴霧機のタンクに薬液や燃料を入れたまま運搬しないでください。

●車両で運搬する時は、機体を立ててロープなどで荷台で確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

正しくお使いいただくために

■ 燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。
焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

●給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

■ 薬液投入時の注意事項

●タンクに薬液を入れる時は、噴霧レバーが完全に戻っていることを確かめてから投入してください。

●薬液投入後はタンクのキャップを確実に締め付けてください。締め付けが不十分だと作業中にキャップがゆるみ、薬液が体にかかる危険があります。

■ エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。

●エンジン始動時および作業時は子供や動物などを遠ざけてください。

●スタータノブを引いた後、遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押さえていてください。

●エンジンを始動する際に、

- スタータノブが軽く引けなかったり、戻らずにスタータロープが垂れる。
- スタータノブを引いてもエンジンがかからない。
- エンジンが 10 秒以上遅れて始動する。

等のときは、スパークプラグを必ず取り外して、分解せずにそのままお買い上げ店にご相談ください。

注意）スパークプラグが付いたままだと不意にエンジンがかかる恐れがあります。

■ポンプについて

●ノズルから吐出する薬液は高圧です。人に向かって噴霧しないでください。

正しくお使いいただくために

■作業中の注意事項

●保護衣は一般的に通気性が悪く体に負担がかかるため、気温が高いときに長時間作業をすると熱射病などを起こす危険があります。作業は暑い日中を避け、比較的涼しく風も弱まる朝夕に行ってください。

●作業を始めるときは、付近の居住者および通行人や農作物等に対して騒音迷惑や薬害を及ぼさないよう、防除の時間や風向等を十分考慮して行ってください。

●散布作業中は常にグリップをしっかり握り、ノズルを周囲の人や動物に向けないようにしてください。

●散布時は風向きに注意し、農薬を浴びないため、常に風上側に立って作業するようにしてください。

●作業中に少しでも体調が悪くなった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。その際、使用した農薬名、作業状況等を医師に説明してください。

●機体が傾くと薬液がキャップの通気孔からもれ出すことがあります。作業時は常に足元を確かめ、バランスを保ってください。

●電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。

■整備上の注意事項

●この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店にご相談ください。

●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作が出来なくなる危険があります。

●点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
高温のため火傷の危険があります。

正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

本機には次の警告ラベルが貼ってあります。よくお読みになって理解した上で作業してください。

① 品番 MY122931

危険	・エンジン運転中や停止直後は、絶対に給油しないこと。引火し火災の恐れがあります。
警告	・排気ガスは人体に有害です。室内での作業は換気してください。 ・リコイルスタータの分解はしないでください。けがをする恐れがあります。
注意	・運転前に必ず、取扱説明書を読んで、よく理解してから運転してください。 ・フタは確実にしめること。薬剤が吹き出しあびる恐れがあります。 ・運転中の点火プラグやコードは、触れないこと。感電する恐れがあります。 ・運転中や停止直後エンジンシリンダに触れないこと。高温の為火傷します。

② 品番 MY106328

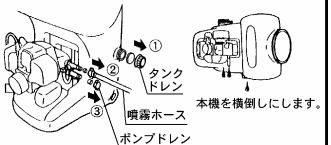
運転注意　CAUTION

薬剤タンクに薬液が無い時は
ポンプを運転しないでください。
AVOID RUNNING PUMP
WHEN CHEMICAL TANK
IS EMPTY.

③ 品番 MY108344

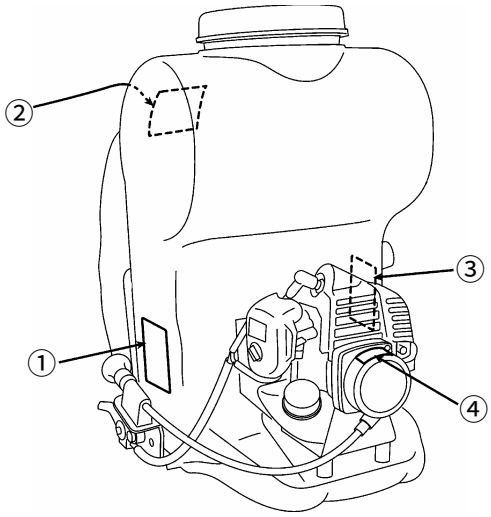
凍結防止

凍結によりポンプを破損する恐れがあります。
下記の方法で内部の残液を確実に抜きます。



①②③を外します。

（注）冬期は、薬剤タンクに薬液を入れたままに絶対しないでください。



④ 品番 T1812-91190

警告	遅れてエンジンが始動することがあります。 始動するまで機械を 押さえていてください。

【ラベルのメンテナンス】

3 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

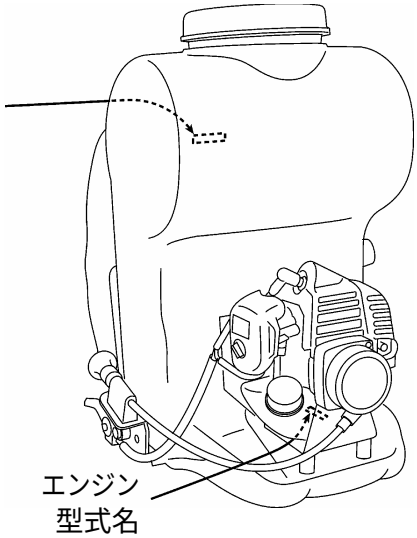
3 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

3 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。
お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。
製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

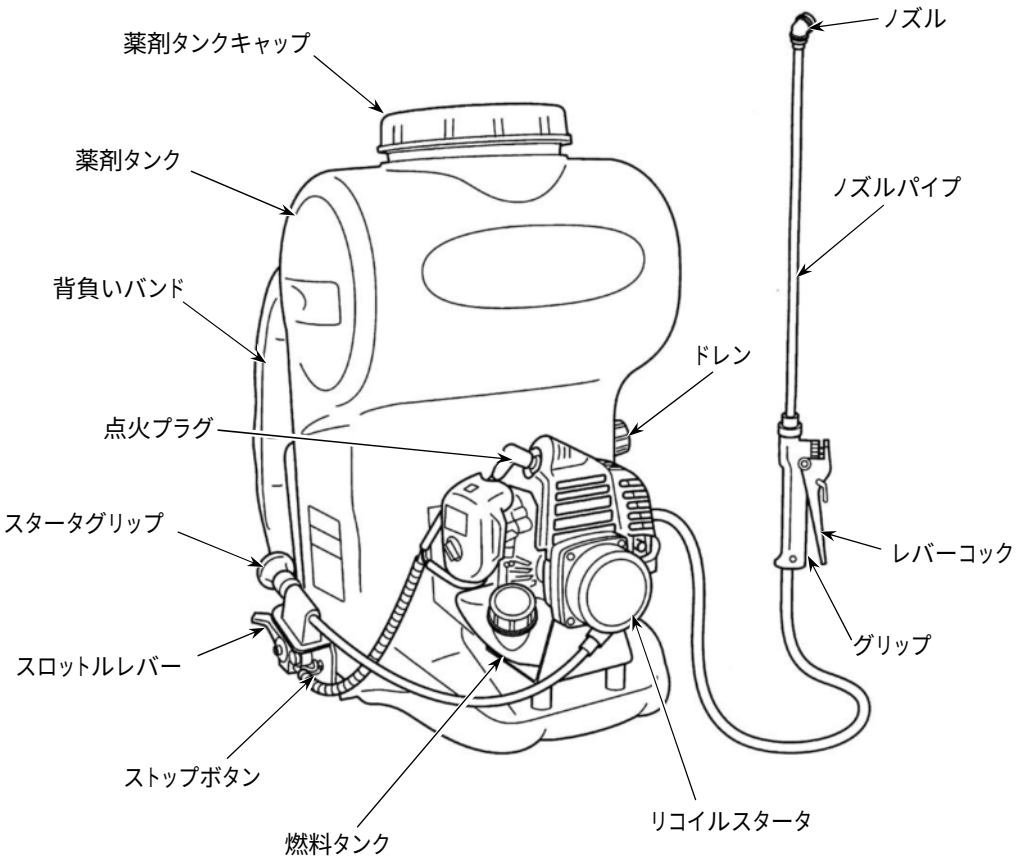
本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は製造打切後8年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

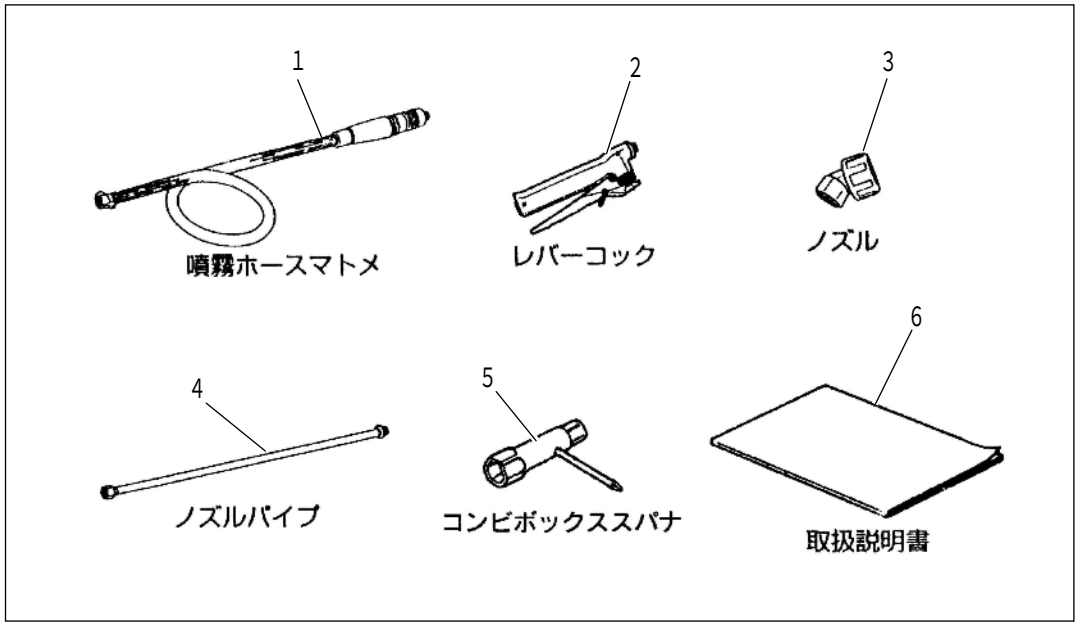
⚠ 警 告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

各　部　の　名　称


ノズル
薬剤タンクキャップ
薬剤タンク
ノズルパイプ
背負いバンド
ドレン
点火プラグ
スタータグリップ
レバーコック
グリップ
スロットルレバー
ストップボタン
リコイルスタータ
燃料タンク

標　準　付　属　品

梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認して下さい。
万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店に
お申し出てください。



図番号	部品番号	品　名	1台分数量
1	MY117232	噴霧ホースマトメ	1個
2	MY112852	レバーコック	1個
3	MY112866	ノズル	1個
4	MY112848	ノズルパイプ	1個
5	MY549653	コンビボックススパナ	1個
6	T4051-93111	取扱説明書※	1冊

※保証書が挟み込まれています。

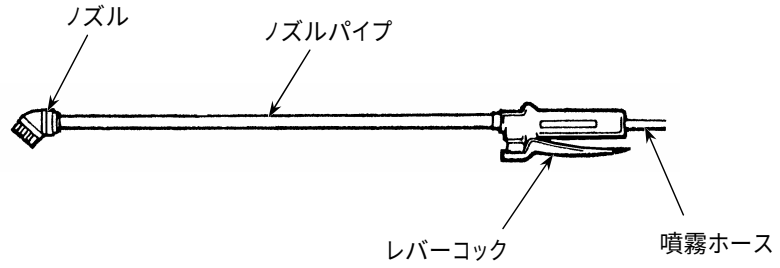
製 品 主 用 諸 元

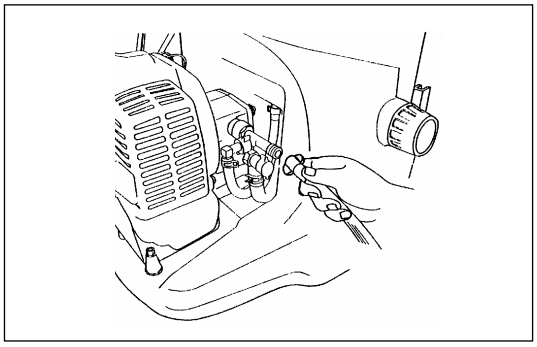
			背負動力噴霧機
			RS086EZ
機体寸法	機高	mm	565
	機幅	mm	415
	機長	mm	360
	乾燥質量	kg	6.7
ポンプ	型式		カスケード式（渦流式）
	吸水量	L/min	0.5～6.0
	回転数	rpm	7.000
	圧力	MPa (kgf/cm^2)	0.8(8)
	薬剤タンク容量	L	15
	燃料タンク容量	L	0.5
エンジン	型式		G20LS
	形式		強制空冷2サイクル
	排気量	cm^3	21.7
	使用燃料		潤滑油混合ガソリン （混合比：ゼノア純正オイル（FD級）使用時 50：1 ゼノア純正オイル（FC級）使用時 40：1）
	点火方式		電子制御フライホイルマグネト式
	点火プラグ		チャンピオンRCJ-6Y
	始動方式		蓄力式リコイルスタータ（EZスタート）

※改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

運 転 準 備

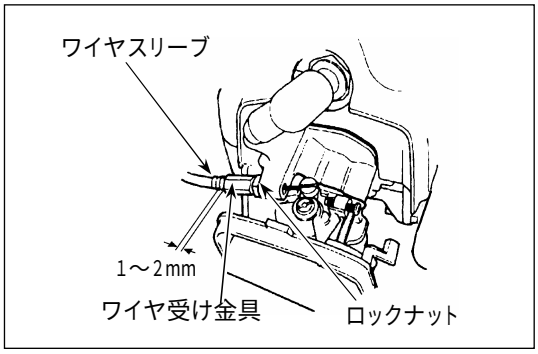
■ ノズルの組立て





ワイドノズル、ノズルパイプ、コック、ホースの順にパッキンが付いていることを確認して、水漏れがないよう確実にネジを締めてください。但し、あまり強く締めすぎるとパッキンがはみ出したり、破れたりするので注意してください。ホースの反対側は噴霧機の吐出口に接続します。

■ スロットルワイヤの遊び調整



スロットルワイヤの遊びは、スロットルレバー を完全に戻した位置（最低速）にしてワイヤ受け金具から出ているワイヤスリーブ を指でつまんで軽く引いた時に、1～2mm動く程度が適正です。

3 遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、ロックナットをゆるめてワイヤ受け金具の位置を再調整して下さい。
3 遊びは、ワイヤ受け金具を右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。調整後はロックナットを締め付けてワイヤ受け金具を固定してください。

燃　　料

⚠ 危険	●燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。 また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ●燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ●混合作業は屋外で行ってください。 ●燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重要	●オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ●燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ●水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。燃料容器に水がかからないようにしてください。 ●4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

混合比

□ゼノア純正2サイクルオイル(FD級)使用時　**50:1**
（ガソリン１Lに対しオイル20mL）

□ゼノア純正2サイクルオイル(FC級)使用時　**40:1**
（ガソリン１Lに対しオイル25mL）

― ゼノア純正　ビッグバンガソリン ―

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された２サイクルエンジン専用の混合燃料です。

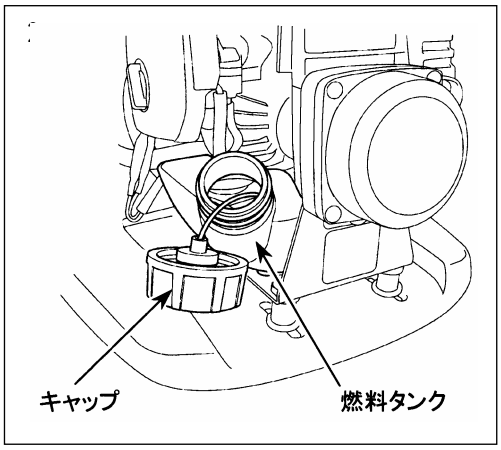
◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
◎混合の手間不要
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などの特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防にすぐれた効果を発揮します。
詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料キャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。 燃料を入れ過ぎると、運転時にタンクキャップから燃料がもれるおそれがあります。



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。

2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。

3. 燃料タンクのキャップを取り外し、８分目を目安に少しずつ給油してください。

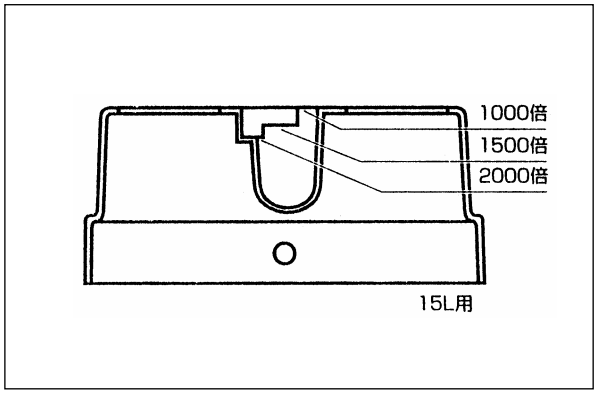
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

薬　液　の　投　入

⚠ 危 険	●薬剤は、容器に記載の注意事項を守って正しく取り扱ってください。薬剤によっては、人体や動物に非常に有害なものがあり、取扱いを誤ると重い中毒症状を起こしたり、死亡事故を招く危険があります。 ● 薬剤容器は、使用時以外は子供の手の届かない場所に、他の容器と区別して保管してください。容器を放置すると思わぬ事故を招く危険があります。

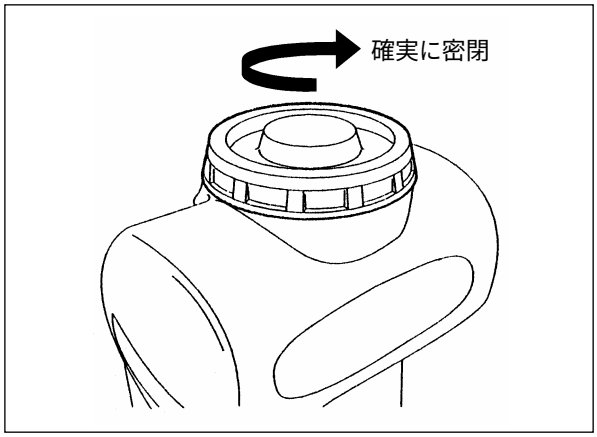
⚠ 注 意	●水和剤を使用する場合は決められた倍率に調合してあらかじめバケツ等の容器に溶かしてください。 ● タンクに薬剤を入れる場合は、必ず備え付けのストレーナを通してください。

■ 薬剤の調合



1. ストレーナの裏の調合カップを使用すると便利です。（目安としてご使用ください。）

2. 使用する薬剤の説明書をよく読み、調合方法使用上の注意に従ってください。



3. 薬剤にゴミが混じらないよう、あらかじめ別容器で溶かし、必ずストレーナを通して薬剤タンクに入れます。

4. 薬剤タンクキャップパッキンを確かめ、確実に密閉します。

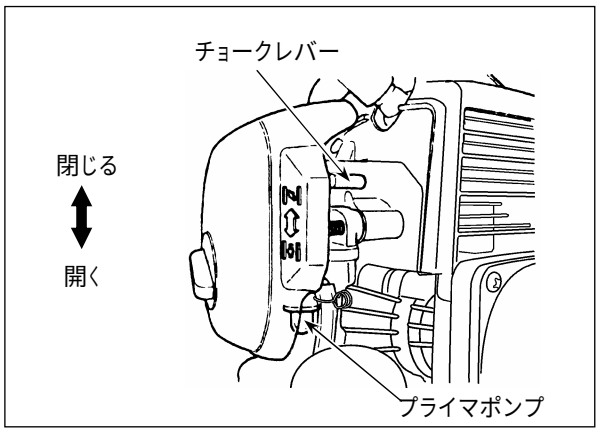
エンジンのかけかた

⚠ 危 険	● 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。

⚠ 警 告	● エンジンの始動時はスロットルレバーをアイドリング位置に戻してください。レバーがアイドリング位置以外になっていると、危険です。 ● スタータノブを引いた後、遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押さえていてください。 ● エンジンを始動する際に、 ・ スタータノブが軽く引けなかったり、戻らずにスタータロープが垂れる。 ・ スタータノブを引いてもエンジンがかからない。 ・ エンジンが10秒以上遅れて始動する。 等のときは、スパークプラグを必ず取り外して、分解せずにそのままお買い上げ店にご相談ください。 注意) スパークプラグが付いたままだと不意にエンジンがかかる恐れがあります。

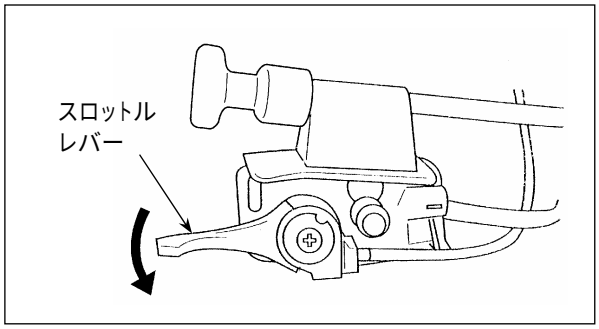
⚠ 注 意	● 始動前に機体各部を点検し、各部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● エンジンを始動する前に噴霧レバー (吐出弁) が完全に戻っていることを確かめてください。レバーが引かれた状態のままだとエンジン始動と同時にノズルから薬液が吹き出すことがあり、危険です。 ● 始動時は機体を平らな安定した地面または台に置いてください。機体が不安定だと始動時の反動などで倒れるおそれがあります。 ● スロットルレバーを完全に戻しても噴霧が止まらない場合は、エンジンを停止しスロットルワイヤ及びキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ● 火傷の恐れがありますので運転中及び停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

重 要	● チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークを開いてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。 ● 運転時は薬液タンク内の薬液または清水を切らさないでください。 ● 運転をすると吐出ポンプ破損の原因となります。



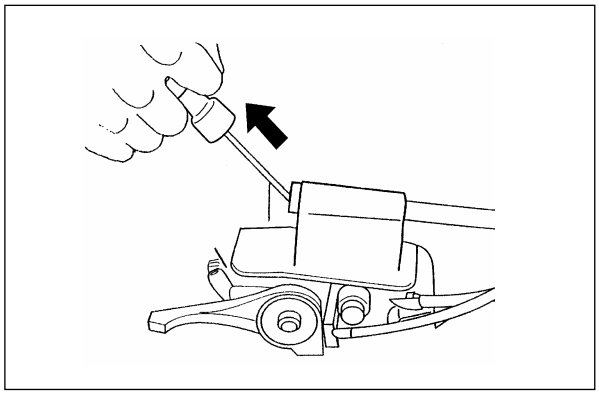
1. キャブレタ下部のプライマポンプを、燃料が透明パイプに流れ出すまで、指で数回押してください。

補足　燃料タンクに燃料が残っている状態で、エンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。



2. エアクリーナ右側のチョークレバーを上げて「閉」の位置にして、スロットルレバーを確実にアイドリングの位置にして下さい。

補足　エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。



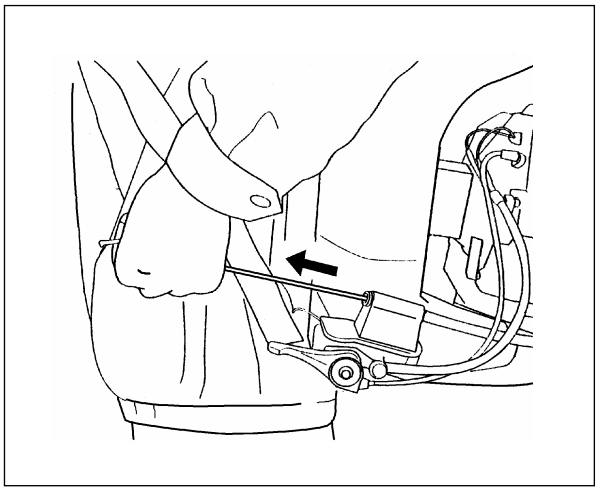
3. 機体を安定した場所に置き、左手で薬剤タンクを押えながら、右手でスタータノブを引いてください。

重要　スタータ故障の原因となりますので、ロープを全部引き出したり、ノブから手を離してロープを戻したりしないでください。

4. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いて1～2分間中速で暖機運転してからスロットルレバーを低速位置に戻してください。

重要　チョークを閉じたままロープを引き続けると、スパークプラグが濡れてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、スパークプラグいったん取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

■ 暖まっているエンジンの始動

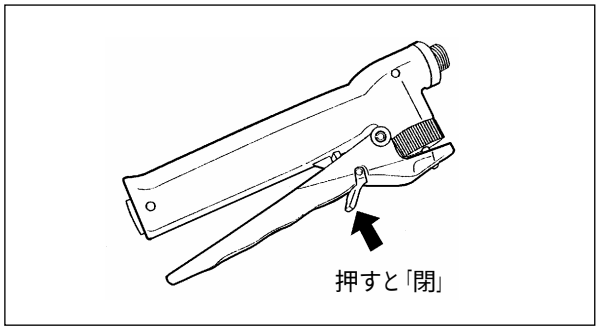


暖まっているエンジンは、背負ったまま始動することができます

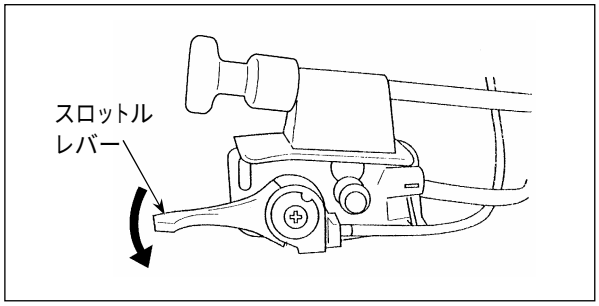
1. スロットルレバーを低速の位置にセットしてください。
2. チョークレバーは「開」の位置にします。
3. 左手でスタータグリップを引いてください。

エンジンのとめかた

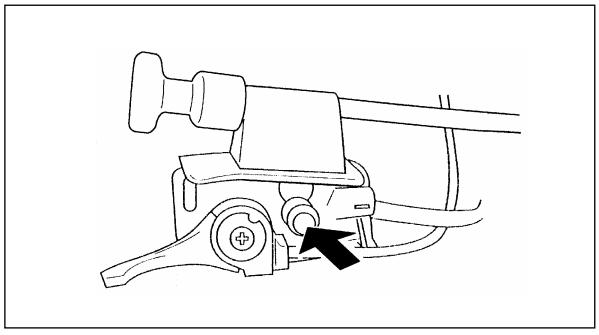
⚠注　意	緊急時は間を置かずにエンジンの停止操作をしてください。



1. レバーコックを閉じる



2. スロットルレバーを完全に下げて、低速で2分間冷却運転をしてください。



3. ストップボタンを押しエンジンを停止します。

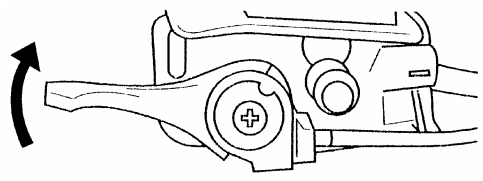
散 布 作 業

⚠ 注 意	● 使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」（1～5ページ）記載の注意事項を守って正しく操作してください。 ● 噴霧機を背負う前に、薬剤タンクと燃料タンクのキャップがしっかりと締まっていることを確かめてください。 ● 噴霧作業はノズルを顔や周囲の人、動物などに向けないで下さい。 ● 噴霧作業の傾きが大きくなるとキャップの通気孔から薬液や燃料がもれ出すことがあります。使用時はできるだけ直立姿勢を保ってください。

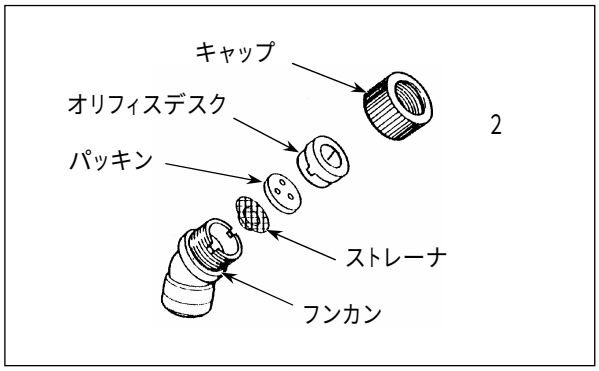
重 要	● 作業中は薬液タンクが空になったらただちにエンジンを低速にしてください。空運転をすると吐出ポンプが破損することがあります。 ● 多口ノズルやジェットノズルなど、吐出量の多いノズルは圧力不足により良好な噴霧性能が得られないことがありますので、使用を避けてください。

■ 運 転

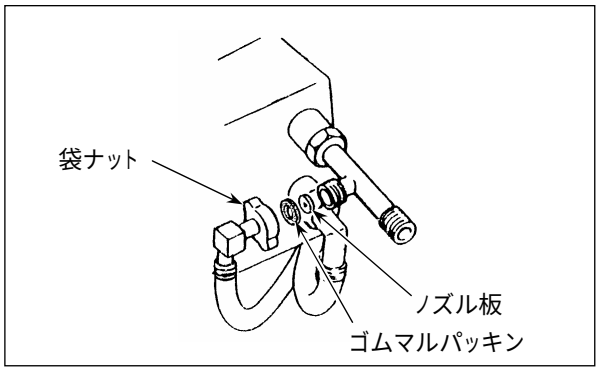
3



1. エンジンをかけ、噴霧機を背負ってください。
2. 背負いバンドを、背負いやすい長さに調節してください。
3. 霧の状態、機械の異常の有無を確かめたうえ、スロットルレバーを高速位置にします。
4. ワンタッチノズルを握ると薬液がノズルより霧状に噴霧されます。



重要　噴霧状態が悪い場合は、エンジンの回転数を上げる。またはノズルを取り外して洗浄し、オリフィスディスクの穴が大きすぎ物は交換します。



5. タンク内の薬液が空になったら、直ちにエンジンを低速にして停止します。運転中ポンプからの噴流により常時攪拌が行われています。攪拌されていないときは、薬液をドレンから抜いて袋ナットを外し、ノズル板を掃除します。

⚠ 注 意	空運転はしないでください。

散布作業後

⚠ 警 告	●残った薬剤は、自分のほ場内で薬剤のないように処理してください。 ●使用後の機械は十分洗浄します。薬剤タンクを洗浄した廃液は、安全な場所に処理するようにしてください。 ●空容器は安全な場所に破棄してください。

.■ 薬剤タンク内を洗浄します。

① タンク内に薬剤が残っていた場合は、ドレンキャップを外し、排水します。この時、残液を受ける容器を排水口の下に予め置きます。
② 回収容器を交換します。タンク内を清水できれいに洗い流します。
③ ストレーナ を洗浄します。
④ 散布の要領でノズルから霧を出します。液がなくなるまで散布します。

■ 燃料タンクから燃料をぬきます。プライミング操作し、キャブ内の燃料もぬきます。

⚠ 注 意	●樹脂タンクの成分が溶け出しエンジンに悪影響を与え故障の原因となります。

■ 本機の掃除

⚠ 注 意	●電装品には水をかけないようにしてください。特に高圧による洗浄液は、直接かけないようにしてください。故障の原因となります。 ●エンジンに水をかけないでください。エンジンが急冷され故障の原因となります。

① 清水できれいに洗浄します。
② 薬剤を保管庫に戻し、鍵をかけて保管します。農薬使用日誌をつけます。
③ 使用した容器を洗浄します。
④ シート をかける時は、本機が乾いてから行います。ぬれていますと腐食の原因となります。

■ 保護具を洗浄します。

■ 衣類を脱ぎ、全身を洗います。

点　検　整　備

⚠ 注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 ● 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

	点　検　項　目		処　置
1	薬液ポンプ	・配管ゆるみ ・各部ネジゆるみ ・水もれ	・締め付け ・締め付け ・締め付けまたはパッキン交換
2	薬液ホース 噴霧レバー ノズル	・接続部ゆるみ ・水もれ ・詰まり	・締め付け ・締め付けまたはパッキン交換 ・掃除
3	背負いバンド	・取付ネジゆるみ ・切れ	・締め付け ・交換
4	エンジン停止スイッチ	・作動不良	・修理または交換
5	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
6	エンジン取付部	・ゆるみ	・締め付け
7	燃料タンク	・取り付け部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
8	マフラ	・取り付け部ゆるみ	・締め付け

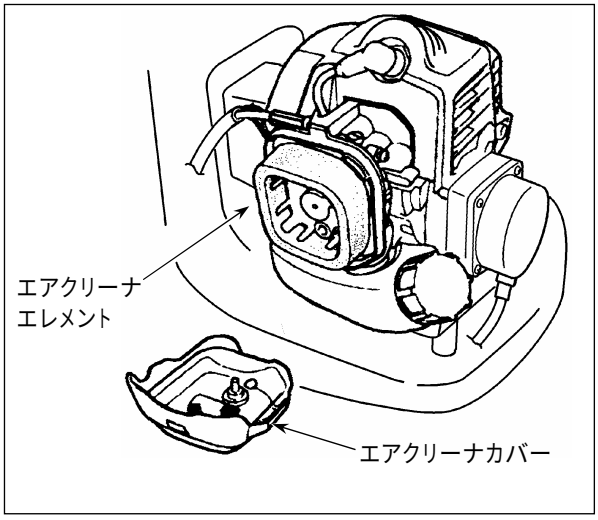
■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点　検　整　備　項　目		使　用　時　間			備　考
		25時間	50時間	100時間	
エンジン	シリンダフィンのゴミ除去	○	○	○	
	エアクリーナエ レメントの清掃	○	○	○	
	スパークプラグ の清掃と調整	○	○	○	スキマ0.6~0 .7mm
	燃料フィルタの点検清掃		○	○	
	シリンダ取付ボルトの増締め			○	
	エンジン各部の増締め			○	
	マフラカー ボン落し			○	
本体	薬液タンク内部汚れ点検清掃		○	○	
	薬液ポンプ分解整備			○	お買い上げ店にご相談下さい。

■ エアクリーナ

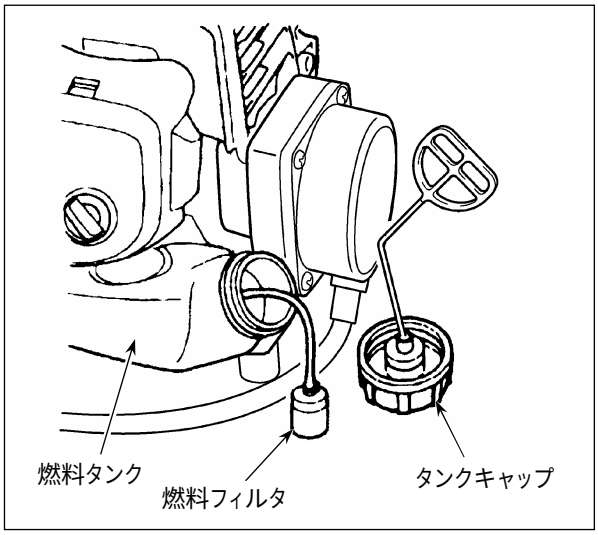
重 要	エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。 また、エレメントを外して運転したり、変形･破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。



２５時間使用毎を目安に、エアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。
エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。
エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重 要	燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。

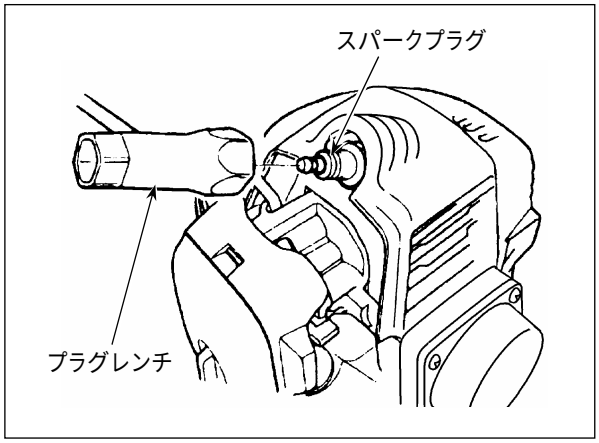


２５時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。
汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

■ スパークプラグ

⚠ 注 意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。

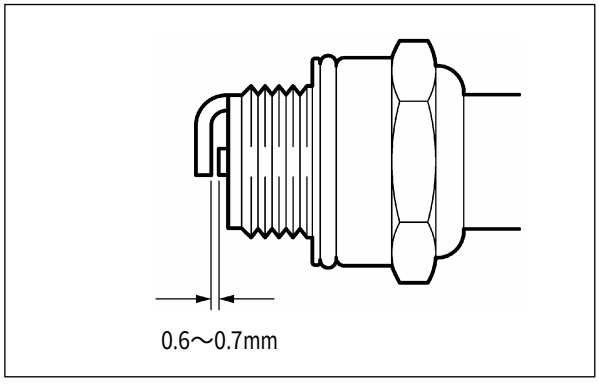
重 要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。



２５時間使用毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

● プラグ取り付け時は、指でねじ込んでから、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。
【締め付けトルク】
15.3～22.4N・m {150～220kgf-cm}

重要 初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。



● プラグ交換時は指定品を使用してください。

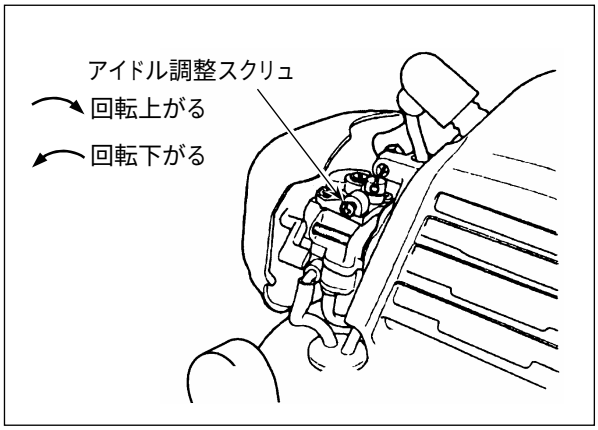
指定スパークプラグ	チャンピオン RCJ6Y または NGK BPM7A

● 電極間隙は0.6～0.7mmが適当です。

■ エンジンの調整

⚠ 注 意	スロットルレバーをアイドリング位置にしたときにポンプが動き続ける状態は危険です。アイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーやスロットルワイヤの作動不良、クラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。

重 要	エンジンのアイドリング回転数は工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化（エンジンのなじみ具合、空気密度の変化等）により、再調整が必要となる場合があります。調整が必要な場合は、下記要領で行ないますが、不慣れな方はできるだけお買い上げ店に依頼してください。



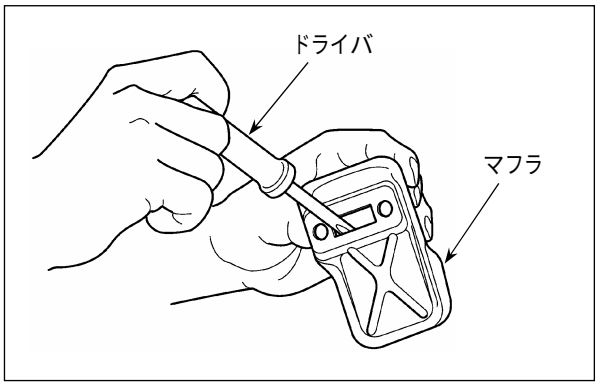
〔アイドリング回転数の調整要領〕

エンジンをかけて２～３分間中速で暖機運転した後、付属のドライバでキャブレタ本体のアイドル調整スクリュを回して、適切な回転数（スロットルレバーを戻した状態でポンプが動かず、エンジンが止まらない）に調整してください。

エンジン回転数は、アイドル調整スクリュを右に回すと上がり、左に回すと下がります。

標準アイドリング回転数	2800～3200rpm

■ 100時間使用毎の手入れ



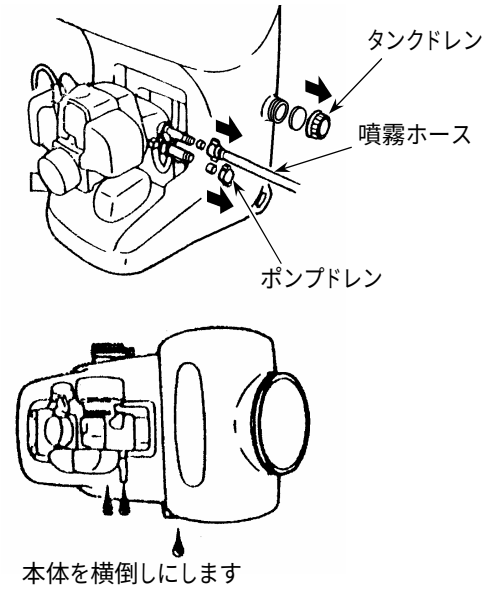
1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。

2. 各締め付け部の増締めを行なってください。

3. クラッチのシューとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

ポンプの水抜き

⚠ 注 意	水抜は必ず行ってください。冬季凍結によりポンプを破損することがあります。



1. 薬剤タンクとポンプのドレンキャップをゆるめ、ポンプのホース接続ネジをはすし、残液を排出します。

2. 薬剤タンクに清水を入れ、エンジンを始動してノズルより噴霧させ、ポンプやホース内を洗浄します。

3. スロットルレバーを全開より若干戻した位置で１５～２０秒運転し残液を抜きます。

4. スロットルレバーを低速にしてストップボタンを押してエンジンを止めます。

⚠ 注 意	冬季には薬剤タンク、ポンプ内に薬剤を入れたままにしないでください。破損の原因となります。

長期保管時の手入れ

⚠ 注 意	燃料拭き取り時は、燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。また保管容器のキャップはしっかり締めてください。

重 要	● 燃料を入れたまま長時間放置するとキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。 ● 保管時は薬剤タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締めすぎるとパッキンが変形することがあります。

1. 薬液タンク~ノズル の洗浄運転をしてください。
2. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え、完全に整備してください。
3. 燃料タンクを空にしてください。
4. 薬液タンクに清水を入れ、エンジンをかけ、キャブレタ内部の燃料を使い切って、自然に停まるまで**アイドリング状態**で運転してください。エンジンが止まりましたら水抜きを行ってください。
6. スパーク プラグを取り外し、2サイクルオイルを数滴（1~2 mL）エンジン内に入れてください。スター タロープを2~3 回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. 金属部に防錆油を塗った後、機体に覆いをして屋内の湿気のない場所に保管してください。

故障のときは

現　　象	主　な　原　因	処　　置
吸水しない	・吸水ホースの接続部のゆるみ	・充分締め付ける（☆）
	・吸水ホースが薬剤でつまる	・分解掃除（☆）
	・インペラの磨耗	・新品と交換（☆）
圧力が上がらない（噴霧状態が悪い）	・インペラの磨耗	・新品と交換（☆）
	・ケーシング内面にキズ	・新品と交換（☆）
	・ノズル穴の磨耗	・新品と交換
	・ノズル使用数の過多	・ノズル数を少なくするか穴径の小さいノズルを交換する（☆）
エンジンが始動しない	・燃料不良（異質、劣化）	・正規燃料と交換（11頁）
	・燃料吸い込み過ぎ	・チョークを開き、スロットルを全開
	・マフラ排気出口詰まり	・詰まり除去（24頁）
	・スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・電極清掃またはプラグ交換（23頁☆）
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・スイッチコード接続不良	・確実に接続する
エンジンが加速しない	・燃料不良（異質、劣化）	・正規燃料と交換（11頁）
	・マフラ排気口詰まり	・詰まり除去（24頁）
スロットルを戻すとエンストする。	・アイドリング回転数が低すぎる	・再調整（24頁）
スロットルを戻しても回転が高い	・アイドリング回転数が高すぎる	・再調整（24頁）
	・スロットルワイヤの遊びがない	・ワイヤ取り回し点検、遊び再調整（10頁）
エンジンの回転が変動する	・燃料フィルタ目詰まり	・燃料フィルタ清掃または交換（22頁☆）
燃費悪化	・エアクリーナ目詰まり	・エアクリーナ清掃（22頁）

・上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談下さい。
・☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

危険

- 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。
- 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。
- 機体各部の締結部品（ボルト、ナット、ネジ類）は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

ZENOAH®

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル® **0570-084987**

月～金/9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台1-9

（平成23年10月現在）

T4051-93111(E4/A1110) PRINTED IN JAPAN